

く・ら・そ

No. 5



「く・ら・そ」はこれから北海道で定住先を探す方を応援するニュースレターです。

今号では、〈移住者インタビュー〉〈地域おこし協力隊募集情報〉〈日高総合振興局の4自治体紹介〉をお届けします。

道内の多くの自治体で、独自の移住・定住者支援をおこなっています。右記QRコードから今回ご紹介しているまちの移住定住情報をご覧ください。えりも町は特に積極的に移住PRを行っておりませんが、基幹産業である漁業が安定している町としておすすめします。



平取町



浦河町



新ひだか町

東川町で移住者インタビュー

東川町定住促進課

移住コーディネーター 鈴木 哉美さん

鈴木哉美さんは、福島第一原子力発電所の事故後、2011年5月に福島県郡山市から東川町へ母子避難、その後、平成25年より旭川市西神楽で農水省地域おこし協力隊として2年半仕事をしてきました。現在は、移住を決め、自身で立ち上げた「311からまなぶ会」の活動のほか、東川町の移住コーディネーターを務めています。

—東川町について教えてください—

くらしの面では、各家庭の蛇口から天然水が出るため、水道料金は無料。一方、最近では町のPR効果で移住人気が出て、賃貸住宅の空きは少なく、新しい物件が多いため家賃も高めです。最近では本州の方が中古物件や土地を購入し家を建てることも多くなってきています。

お子さんがいる場合は、中学校が1校しかなく選択の余地がないため、もし、学校が合わない、となると大変かもしれません。高校になると、バスで旭川に通うケースが多いので通学に時間がかかります。そのほか、東川町は「写真の町」として、国際写真フェスティバルを開催するなど国際交流が活発で、全国初の町立日本語学校もあり、町内には多国籍の留学生たちが暮らしています。

—地方都市に移住を考えている方へのアドバイスは？—

ここに暮らしたい、という町があったら、まずその地域の人達とつながることです。子育てサロンでもイベントでも、どんな場所でもいいから足を運び、知り合いを増やし、自分のことを伝える。私は最初から、避難をしてきたことを伝えてきました。北海道では『困っていることを察してほしい』と思っても察してはくれません。でも、『助けて』と言えば全力で助けてくれる、言っていないだよという懐の深さがあります。だから、人とのつながりを自分から積極的に作り、自分から伝えることが大切です。

北海道に限らず、『よそ者』でなければ気が付かない、その土地の良さも欠点もあります。欠点は移住者の声で変えていくこともできるでしょう。自分も、移住先のまちづくりの一端を担うんだ、と思って暮らすと、やりがいも得られ、地域の方々との交流も深まります。

地域おこし協力隊@日高総合振興局

▶地域おこし協力隊とは、そもそも…。

総務省が地域活性化の目玉企画として始めた協力隊も7年が経過し、全国に定着してきました。

この制度は人口減少や高齢化が進む地方において、都市部から人材を受け入れ、仕事をしてもらい、定住・定着をはかるものです。ポイントは最長3年間は収入が保証(200万円/年)され、住居と仕事も基本的には役場が用意します。3年後は自力でその町に自立・定住することが求められることとなります。

▶日高地方の現在の募集状況

9月23日現在で協力隊を募集しているのは、様似町です。協力隊の仕事内容は以下の通りで、募集人員は各1名程度です。

- 様似町 A 農業支援及び新規就農希望者
 - 年齢制限：55才まで
 - 報酬月額：165,000円
- B 観光振興(ツアー企画、観光協会支援)
 - 年齢制限：50才まで
 - 報酬月額：165,000円
- C 高齢者支援
 - 年齢制限：50才まで
 - 報酬月額：165,000円

▶日高地方の特徴

現状では1自治体ですが、過去1年間では、管内すべての自治体が募集しています。

日高管内の特徴は、競走馬生産とこれを資源とする観光産業がメインですが、イチゴのハウス栽培や漁業などの豊かな1次産業があります。

イチゴ栽培は生産のシステム化が進み、新規就農でもやっけて行けるような仕組みが整えられています。

漁業の盛んな「えりも町」は、収入も高く出生率で道内1位。漁業への参入は障壁が高いものがありますが、豊かな町だからこそ参入できる、商業や漁業従事者へのサービスなどへの可能性があります。



くらべてみよう、北海道のまち ～日高総合振興局～

	市営・町営住宅	公共料金※1	学校数	子育て支援	子ども医療費助成※3	高齢者支援
平取町	毎月、まちだよりで公募	上水 2,920円 雑排水 1,200円 国保 115,000～120,000円	小5 中2 高1	保育料のめやす※2 国の定める基準を減額 出産祝い金	医療費還元事業 平取町金券で還元 15才迄(自己負担分)	緊急通報システム 夕食宅配サービス 1食400円
浦河町	空きがでたら、町広報で募集。	上水 2,230円 下水 3,450円 国保 100,000～105,000円	小4 中3 高1	保育料のめやす※2 10,700円 チャイルドシート購入助成	家庭医療費支援事業 すくすく子ども券で還元 高校生迄(自己負担分)	配食サービス 緊急通報システム 介護用品給付事業 うらかわシニアパスポート
えりも町	空きがでたら随時、HP・広報紙で募集	上水 2,160円 下水 3,660円 国保 130,000～135,000円	小5 中1 高1	保育料のめやす※2 7,200円 すこやか赤ちゃん出産祝金	入院、通院 未就学児 入院のみ 小学生迄	給食サービス 緊急通報システム 家族介護用品支給
新ひだか町	入居可能な住宅については、年4回程度HPで公募	上水 1,720円 下水 3,560円 国保 90,000～95,000円	小6 中3 高2	保育料のめやす※2 5,500円	入院、通院 未就学児 入院のみ 小学生迄 健康づくり商品券 15才迄	福祉列車交通費補助 温泉入館料無料券 温泉バス運行事業 給食サービス 介護用品支給

※1 北海道HP「北海道内の市町村の財政状況」(平成27年3月31日現在)より。上水は一箇月当り10㎡使用した場合、下水等は一箇月当り20㎡使用した場合、国民健康保険は被保険者一人当たりの平均年額。
 ※2 例として、市町村税均等割のみの世帯の3歳児の保育にかかる費用を記載しています。参考：札幌市は8,800円
 ※3 子ども医療費助成は、子どもの年齢等によって所得制限の有無あり(詳しくは各市町村窓口でご確認ください)

平取町

日高地方の西端に位置し、総面積 743.09k ㎡・東西 52.8km 南北 41.1km、形はやや北海道に似た三角形のまちです。豊かな自然とアイヌ文化の拠点の1つの町として広く知られ、産業は農業を中心として健康で豊かに暮らすことができるまちづくりをめざしています。

「すずらん群生地」をはじめとし、四季折々の豊かな風景を楽しめ、夏は涼しく、冬は降雪量が少ないなど北海道では比較的温暖で過ごしやすい気候です。

えりも町 「海と大地のふるさと」

えりも町は、北海道の東南端に位置し、豊かな水産資源と雄大な自然景観に恵まれた漁業と観光のまちです。「風極の地」と呼ばれる日本屈指の強風地帯でもあります。コンブ、サケ、ウニなど豊富な魚介類の水揚げは、地域経済の主力を成しています。そして、全国的に知られている「襟裳岬」やハート形の湖「豊似湖」など数多くの景勝地を有し、年間30万人以上の観光客が訪れます。また、出生率は北海道内1位を誇ります。

浦河町

日高地方南部に位置する浦河町は、四季折々の海の恵みをもたらす太平洋と、雄大な日高山脈にかこまれた自然豊かなまちです。国内有数の馬産地としても知られており、約3,000頭のサラブレッドが牧場を駆けまわる“馬のまち”です。海洋性気候の影響で夏は涼しく、冬は温暖なため「北海道の湘南地方」とも呼ばれています。良質のダシ昆布「日高昆布」やサケ・マス、夏から秋にかけてのスルメイカは特産品となっています。

新ひだか町 「新しい暮らしを創造するまち」

新ひだか町は、平成18年に静内町と三石町が合併して新たに誕生しました。日高振興局の中央に位置し、峰々が連なる日高山脈を背に、雄大な太平洋を望む温暖で緑あふれる自然に恵まれたまちであると共に、日高地方の行政、産業、経済、そして文化の中核都市です。また全国の『町』面積ランキングで、第4位の広さを誇っています。面積の約84%を山林が占め、わずか2%にあたる市街地に住民の約7割が生活しています。



発行 特定非営利活動法人 北海道ふるさと回帰支援センター

住所 〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74

市民活動プラザ星園 405号室

電話 011-211-0261 FAX 011-211-0271

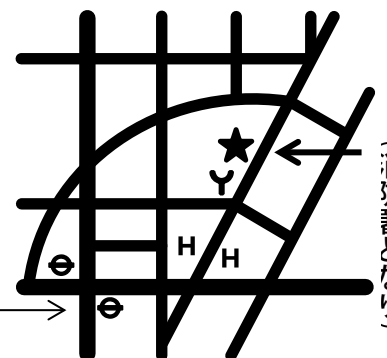
HP <http://www.furusato-kaiki.jp/>

協力 北海道NPO被災者支援ネット

電話 011-552-5900 携帯 080-3230-5900

E-mail kitanpo@gmail.com HP <http://www.npohotweb.com/>

地下鉄南北線
1・2番出口
中島公園駅



市民活動プラザ星園
(消防署となり)